

二宮町総合戦略評価シート（30年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）			プロジェクト担当課長		企画政策課長			
プロジェクト	公共施設の総合的マネジメントプロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D	
実施計画事業	01	安心して住み続けられる地域再生事業	1	●				
	02	公有財産管理運営事業	25	●				
	03	教育施設整備事業	1	●				
	04	コミュニティ・スクール導入促進事業	1	●				
	05	道路整備・管理事業	3	●				
	06	公園整備・管理事業	2		●			
	07	公共下水道事業	1	●				
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止							
平成30年度の 取り組み	成果							
	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づく取り組みを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎建設の基本構想・基本計画の策定に向け準備をした。 ○町営プールの方向性を決定した。 ○公共施設予約システムを導入した。 ○駅前町民会館を解体した。 							
	課題							
	①公共施設予約システムの運用にあたり、施設使用者の利便性向上及び利用促進を図る必要がある。 ②地区の見直しとともに、地域集会施設の統廃合についても検討する必要がある。 ③新庁舎整備について、町民等の理解を広める必要がある。							
改善点(課題番号に対応)								
①予約システムの運用上の課題の検証、対象施設の拡大について検討を行う。 ②情報収集により現況を整理し、地区と協議をするための準備を整える。 ③町民説明会や議会等の意見を踏まえ、情報を整理し、様々な媒体により周知を図る。								

1次評価（プロジェクト推進担当課長）			プロジェクト担当課長		企画政策課長			
プロジェクト	大規模公有地の有効活用プロジェクト		該当予算 事業数	A	B	C	D	
実施計画事業	01	安心して住み続けられる地域再生事業	1	●				
	02	公有財産管理運営事業	25	●				
	03	東大跡地・国立小児病院跡地の検討	1	●				
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し(要改善) <input type="checkbox"/> 休止・廃止							
平成30年度の 取り組み	成果							
	<ul style="list-style-type: none"> 東京大学果樹園跡地の活用における社会実験として、「二宮市（平成30年11月10日開催）」及び「キャンプイベント（平成31年3月2日、3日開催）」のイベントを実施した。 これまでの検討会参加者から会員を募り、「東京大学果樹園跡地活用協議会」を設立（平成31年3月16日）し、平成31年度の取り組みに向け準備を進めた。 							
	課題							
	①今後の東京大学果樹園跡地の活用に向け、安全に使えるための整備や多様な団体や一般の住民が利用しやすい整備を行う必要がある。 ②東京大学果樹園跡地の活用に関する取り組みを、一般町民への認知度向上を図る必要がある。							
改善点(課題番号に対応)								
①東京大学果樹園跡地活用協議会とともに、活動方針や役割分担、利用料の設定といった運営の基盤を固める。 ②協議会を中心に様々な媒体での広報活動を行う。								

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策担当部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名：公共施設の総延床面積					
	基準値	H28	H29	H30	H31	目標値
	67,824㎡	67,824㎡	67,824㎡	67,135㎡		67,506㎡以下
	達成状況に関する分析					
	駅前町民会館を廃止・解体したことにより、平成30年度に目標値を達成した。平成31年度に廃止予定の施設はないため「継続推進」とし、今後のKPIを検討する。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し 「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
2次評価	公共施設の総合的なマネジメントプロジェクト			の成果について		
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	公共施設再配置・町有地活用実施計画とは別に検討することになっていた、庁舎・学校施設について計画（案）が策定された。様々な施設の廃止・統合には住民理解が不可欠であるので、丁寧な説明に努める必要がある。					
	大規模公有地の有効活用プロジェクト			の成果について		
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
説明						
KPI達成に直接寄与しないものの、遊休公有地を町民と共に有効活用するモデル事業がスタートした。						
施策： 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり の成果について						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった			<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった			
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった			<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった			

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているが一部課題があるため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に示した町有地や公共施設のあり方について、東大果樹園跡地の利用など一部の取り組みが前進していることは認められる。一方、全体としての進捗が見えないことと、延べ床面積等の削減目標が機能の引継ぎや利便性の向上を含めた中身の伴った削減として見えない部分がある。また、東大果樹園跡地での活動が全体に広がっていないなどの課題も、今後の事業推進への影響が懸念される。今後は、計画の内容や目標、進捗などを町民と共有できるよう情報の発信について力を入れるなど、計画推進にあたって改善すべき点がある。</p>	

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各プロジェクトの 今後の方針	公共施設の総合的マネジメントプロジェクト		の今後の方向性について	
	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(要改善)	
	<input type="checkbox"/> 休止もしくは中止	<input type="checkbox"/> 終了		
	大規模公有地の有効活用プロジェクト		の今後の方向性について	
	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(要改善)	
	<input type="checkbox"/> 休止もしくは中止	<input type="checkbox"/> 終了		
	<p>○公共施設の総合的マネジメントプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約システムの運用上の課題の検証、対象施設の拡大について検討を行う。 ・地域集会施設は、情報収集により現況を整理し、地区と協議をするための準備を整える。 ・新庁舎整備は、町民等の理解を広めるため、町民説明会や議会等の意見を踏まえ、情報を整理し、様々な媒体により周知を図る。 <p>○大規模公有地の有効活用プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学果樹園跡地活用協議会とともに、活動方針や役割分担、利用料の設定といった運営の基盤を固める。 ・協議会を中心に様々な媒体での広報活動を行う。 <p>○共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを浸透させ、活動の効果が町全体に波及するように、計画の内容や目標、進捗などを町民と共有できるよう情報の発信について力を入れる。 ・KPI「公共施設の総延床面積の削減」は、単なる数値の削減のみと捉えられないように、進捗なども含め情報提供の方法を工夫する。 			